

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	◎	観光遊園地（職員）	・このまま新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いている状態が続けば、余暇に掛ける金額も確実に増加傾向になると考えている。
	○	商店街（代表者）	・大変厳しかった飲食業中心に、徐々に来客数は増加している。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	・個人、企業共に予約が入り始めている。このまま新型コロナウイルスの新規感染者数が増えなければゆっくり回復していく兆しがある。
	○	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス感染の状況次第だが、現状を当面維持できれば、数か月後には景気は更に良くなる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきて、景気が良くなっていく。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いた。10月の後半からそこそこ良かったので、年末にかけて売上増加が期待できる。
	○	家電量販店（店員）	・冬のボーナス、新生活準備で販売数の増加が見込める。
	○	乗用車販売業（営業担当）	・年間で一番販売量が多い時期となり、今よりは良くなる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・半導体不足もやや解消され、生産台数も少しではあるが戻りつつある。
	○	乗用車販売店（役員）	・メーカーの生産が回復すると見込まれることから、過去最大の受注残を年度末に向けて消化していくことになる。
	○	一般レストラン（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの感染が落ち着いて、経済活動が活発になることを祈っている。
	○	観光型旅館（経営者）	・年明後に現在の感染状況が維持できればGo To Travelキャンペーンが再開され観光客の動きが戻る。
	○	旅行代理店（営業担当）	・まだまだ感染拡大が気になるが、Go To Travelキャンペーン再開の情報も出てきており、再開となれば旅行需要は拡大する。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響も収まりつつあるのか来客数も回復傾向。入学・卒業商戦に向けて期待したい。
	○	美容室（経営者）	・このままの新型コロナウイルスの感染状況であれば12月以降人が動くことを期待している。
	□	商店街（事務局長）	・海外で新型コロナウイルス新変異株が見つかり、動揺が世界に広がったことから、株価も下がった。この新型コロナウイルス新変異株が、どの程度の勢いで広がるか、重症化リスクがどの程度あるかで、今後数か月の世界経済と人流が左右されることになる。
	□	商店街（代表者）	・各地方都市の現況は大同小異であり、これからの街づくりがどうあるべきか、どのような方向性に進むべきか、見定めることは難しいが、それぞれが都市の個性の差別化を図ることが前提になる。当地でも旧来の市街地以外でいろいろな試みがなされネット社会の利便性を生かした組織や活動が活発化しつつある。大きな時代変革が起こりつつある。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は今のところ小康状態にあるが、これから年末にかけて寒くなっていくので不安である。年末商品のお陰で来客数が増えている分、若干売上が増加しているがこれは飽くまで一時的なもの。これからも感染状況次第で変化していく。
	□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルス感染の第6波が予想されているなか、先の見通しは不安である。
	□	百貨店（営業管理担当）	・全国でワクチン接種が進みつつあるが、過去の感染者の推移や、新型コロナウイルス新変異株の報道などの不安要素もあり、いまだ状況に明確な改善が見込めない。
□	スーパー（企画担当）	・外出制限が緩和されても外食の頻度が急激に戻ることはないとは推定するが、年末の帰省など不安定な要素があり、前年と比較し大きな変動はないと推測している。	
□	コンビニ（商品担当）	・第6波がどのタイミングか、3回目のワクチン接種が間に合うのか定かではないので、まだ不安が残る。	
□	コンビニ（総務）	・コロナ禍の状況にもよるが消費喚起につながる要因がないと変わらない。	

	□	乗用車販売店（従業員）	・燃料の大幅な値上がり企業が収益等へ今後徐々に影響してくると予想され、景気回復への不透明感は今後も続く。
	□	その他専門店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いても、12月の売上が上がらないので、今後、景気は変わらない。
	□	タクシー運転手	・2～3か月先は、毎年、繁忙期を過ぎて、人の動きは少なくなり、新型コロナウイルスの第6波の影響も少なく、外出する人は横ばい。
	□	通信会社（営業部長）	・新型コロナウイルスに関する不安がほぼ感じられなくなってきた。客も余り感染対策を気にしなくなっている。
	□	通信会社（支店長）	・半導体不足解消の見込みが見通せない。
	□	競輪競馬（マネージャー）	・新型コロナウイルス感染第6波も予想されており、コロナ禍以前のような人出の回復は早期には見込めず、現状からは余り変わらない。
	□	設計事務所（所長）	・建設業界は、業績は横ばいを予想している。
	▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの一旦の収束で巣籠り消費が縮小するため及び、原油高や食料品価格の高騰などの影響を受けて消費マインドが低下する。
	▲	スーパー（店長）	・内食消費が低迷し、客の来店頻度と買上点数が減少する。
	▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの落ち着きで、大型商業施設や外食産業やスーパーマーケットにシフトしていた客が減少する。
	▲	コンビニ（店長）	・通常活動が本格的に始まれば今以上に来客数の分散傾向が強くなると考えている。
	▲	衣料品専門店（営業責任者）	・客との会話でも新型コロナウイルス新変異株の話が出てきており、ワクチンの効果が有効であるなどプラスのことが出なければ、不安感が出始めて景気が悪くなっていくと感じている。
	▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・新型コロナウイルス新変異株の影響がどのようになるか、現時点で判断しかねるが、欧州の状況から考えると、再び外出の自粛、消費の減退が生じると危惧している。
	▲	タクシー運転手	・冬は寒く、お遍路の仕事が少なくなる。年末過ぎれば景気はぐっと悪くなる。
	▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株がどのように影響してくるのかわからないが現状も良くないので期待はできない。
	×	コンビニ（店長）	・この新型コロナウイルスの落ち着いている現状で、行楽シーズンのなか、来客数減少に転じていることをみると、新型コロナウイルス発生前の回復は望みが薄い。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がやっと沈静化してきたが、原油価格の上昇でさまざまな物が値上がりし景気回復に水を差している。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の心配がある。
企業 動向 関連  (四国)	◎	税理士事務所	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減ったことで消費が新型コロナウイルス発生前に戻る。
	○	農林水産業（職員）	・長期予報では寒い冬が予報されている。一方、燃油価格の高騰を受け、ハウス内の温度を適正温度より下げる動きも見られているのが実態。このことは、今後の生産出荷量に大きく影響することが想定される事態で、日配品の価格にも消費者が慣れる時期であることから、量販店も需給を無視できない環境になる。
	○	繊維工業（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の関係で海外観光客が観光地へ戻るのはまだまだ先であり、全国的な完全復活はみえない。現在は取引先小売店の倒産廃業はみられないが、助成金返済などの問題が発生する来春以降、資金余力が少ない小売店にとって厳しくなる。
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・大手住宅メーカーの契約棟数が順調に推移している。今後の受注量には期待できるとみている。しかし資材価格の高騰がどこまで続くのか不安要素はある。
	○	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの心配のみ。その対策をしっかりとお願いしたい。
	○	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況の収束がうかがえる限り、消費者行動が活性化し、緩やかに景気は回復していく。
	○	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は非常に少ない状態で継続しており、今後も少ない状態が継続されれば客先の販売促進計画や若干イベント再開も見込まれているので、やや良くなる。

	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	・原材料費や資材や原油が高騰し、物流費などは増加する。
	<input type="checkbox"/>	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌や掃除用のウェットクリーナーの売上が良かったが、新規感染者数も減少傾向にあり、売上がここ数か月伸びていない。今後も下がる恐れはあるが、消費者の衛生意識が高まっているので激減することはない。
	<input type="checkbox"/>	化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は、日本では激減しているが、海外では増加している国もある。また、高騰した原油価格は高止まりが予想される。
	<input type="checkbox"/>	鉄鋼業（総務部長）	・受注価格の上昇もあるが資材価格も上昇しており余り変わらない。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルスの国内感染者は落ち着いているものの、新型コロナウイルス新変異株の動向次第で企業活動に制限が掛かってくるおそれがある。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・公共事業への依存度が高い業界であり、年末から年度末にかけては、例年、売上増加の時期である。今後の景気は、新型コロナウイルス感染次第ではあるが、多少増加し、行動制限が掛かったとしても、これまでの経験や対応実績の蓄積があるので、業界全体の景気が大きく、悪くなることはない。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・年末までの公共工事の増加に期待している。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業）	・長引く燃料油価格高騰の影響が物流事業者の経営を圧迫している状況であり、今後は運賃・料金値上げに動く事業者が増えると推察される。海外から流入した新型コロナウイルス新変異株による感染再拡大の不安もあり、景気の先行きはいまだ不透明である。
	<input type="checkbox"/>	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にあり、社外イベント等への参加を検討し始めているが、再度の感染拡大の懸念が拭えず、見通しが立てづらい。
	<input type="checkbox"/>	通信業（企画・売上管理）	・現段階では、変動するトピックスがない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経理担当）	・市場マインドは上向きつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響及び世界的な電子部品供給不足等による部品調達の遅滞や原材料価格の高騰等、不確定な要素が多く懸念される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	輸送業（経理）	・出荷計画が増加の客は一部でみられるが、大半の客の出荷計画は現行どおりか出荷数量減少の予定となっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
雇用 関連 (四国)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業）	・年末年始商戦が重なり、このまま新型コロナウイルス新規感染者数が沈静化すれば、徐々に年末年始は経済が動き出す。そうなれば繁忙期対応の求人ニーズも高まり、雇用の拡大の兆しがみえる。ただ来年度を見据えた正規雇用のニーズ確保まではまだ厳しい状況。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・落ち込みの大きい前年との比較では、やや良くなると考えている。しかし新型コロナウイルス発生前まで戻るにはまだ時間が掛かる。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（求人開発）	・これまで落ち込みが激しかった宿泊業や飲食サービス業、生活関連産業、娯楽業の求人数が、前月、前々月とも増加に転じており、新型コロナウイルスの感染が抑えられていけば、今後良くなる。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数が大きく減少して落ち着き、今の状況が持続していく。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌（営業）	・求人数は増え景気は回復しつつあるが、どの業態でも人手不足となっており、不足状況はしばらく変わらない見込み。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（従業員）	・現在新型コロナウイルスも落ち着き飲食店やホテルの求人数が増えているが、年明けには一旦求人数が落ち着く。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルス感染症は落ち着いてきたが、まだ景気回復の兆しは感じられない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input checked="" type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	・製造業などの求人数が少なく、派遣業の依頼数も減少している。